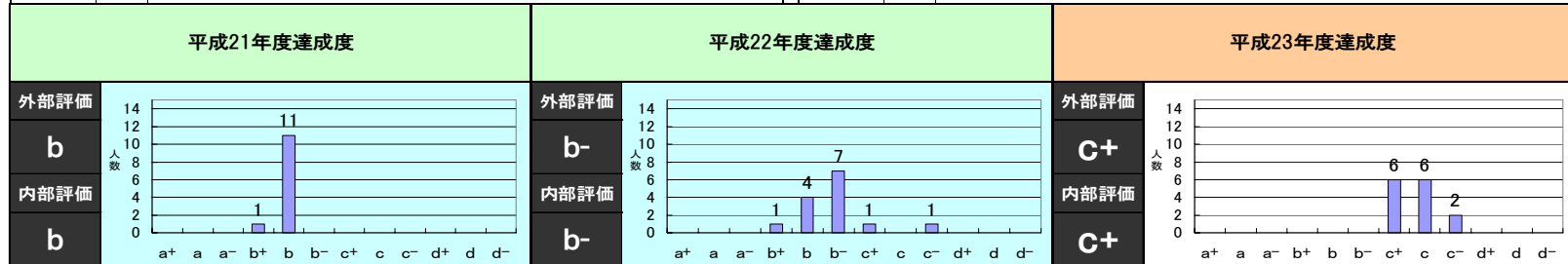


【委員評価一覧】追加ヒアリング対象事業（第7回委員会:8月10日(金)開催）

部分が委員会後変更箇所

宣言分野	事業番号	倍增プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c、d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
条例宣言	II-6	さいたま市の憲法「自治基本条例」を市民参画で制定します。	3年以内	平成23年度末までに、「自治基本条例」を制定します。	①最終報告書とりまとめ(8月末頃) ②意見交換会等実施 ③ニュースレター2回発行 ④条例議案を議会へ提出(2月)	①最終報告書とりまとめ(2月) ②△意見交換会を10区で、出前意見交換会を11回実施 ③ニュースレター発行(2回) ④★議案提出に至らず	C+	・議案提出には至らなかったため「c」とした。 ・市民意見交換会等を数多く実施し、市民周知及び意見収集に取り組んだことを加点評価した。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等	委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	C-	条例の必要性に問題を感じた事による。	長野委員	C+	多様な市民やステークホルダーとの対話の場を検討過程で設けたことは加点要素である。議案提出が為されなかったことで、進捗は工程表より遅れが生じている。
河西委員	C+	どんなことにひっかかり、その原因はなんなのか。意見交換会で皆さんよくお分かりのようですが、それでもなかなか進みきれないといった様子なのでしょうか。	橋本委員	C-	未達のため。プラン期間の事業であり、よりスピーディーな取り組みが必要ではないか。
木島委員	C	条例議案提出が未達	廣瀬委員	C	議案提出に至っていない。意見交換会はもともと予定されていた取り組みであり加点要素とはいえない。
栗原委員	C	目標には意見交換会の回数が明記されていないため、当初目標以上の成果なのかどうか判断できません。	福崎委員	C+	—
須藤委員	C+	多大な労力をかけ「最終報告書」がまとめられており、議会への速やかな上程と条例制定を期待。	星野委員	C	目標に遅れが生じていると評価します。
高木委員	C+	条例議案提出に至らなかったため「c」とし、市民周知のための主な取組が良く行われていたので加点評価した。	町田委員	C	条例が制定されていないため遅れていると評価。条例を制定することでどのような保護法益が図れるのかを市民に周知することが必要です。
高島委員	C	目標未達だが、達成に向け様々な取り組みをしているので「c」とした。	三浦委員	C+	内部評価と同様と判断する。



宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度主な目標等	H23年度達成度（内部評価）		
						達成度	評価理由	
地域間対立を越えて	61	地下鉄7号線延伸は、経済性などを十分に考慮し、まちづくりと運動させて推進します。	4年以内	・経済性などを十分に考慮し、まちづくりと運動させた上で、平成24年度末までに事業着手することを目指します。	①これまでの調査の取りまとめを行うため、県・市共同で第三者専門家による検討委員会を設置します。 ②社会経済情勢を踏まえ、事業リスク等に考慮し、鉄道事業だけでなく、まちづくりも合わせ総合的に検討します。 ③▲整備主体等との調整を開始します。	①県と共同で「地下鉄7号線延伸検討委員会」を開催し、調査のとりまとめ・評価を行いました。 ②検討委員会の結果について、市民への報告・意見交換を行いました。 ③▲整備主体との調整には入れませんでした。	b-	・これまでの調査のとりまとめを行うことができたのでbとした。 ・整備主体等との調整に入れなかったことから減点した。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等	委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	b-	検討委員会での検討及び100年後を考えた時の需要予測を配慮すると当然と思う。	長野委員	b-	内部評価の判断は妥当と考える。
河西委員	c	事業をどのように取り組むのかは採算性を重視するか、住民の希望と利便性を重視するかです。時間がかかりすぎです。	橋本委員	b-	概ね、事業計画（工程表）のとおり、進捗したと判断しました。内部評価に準じて、マイナス評価としました。
木島委員	c+	プラン当初の工程表にある整備主体・営業主体との調整・合意、および沿線自治体、関係事業者等との調整が遅延。但し、直接的ではないものの、連携を行っているためプラス評価。	廣瀬委員	b	検討が進められその結果、ただちに整備主体と調整に入れる条件をみたくないことが確認されたので、減点要素とは判断せず、概ね工程表通りと評価。
栗原委員	b-	十分な検討をお願いします。	福崎委員	b	目標設定に、他のプランでも見られるような「何月までに」という設定があると良いと思う。意見交換会への参加者数の説明があった。
須藤委員	b-	事業主体等との調整が開始されないためb-評価。	星野委員	b-	概ね目標通りの進捗と評価します。但し、整備主体との調整に入れなかったので減点評価。
高木委員	b-	整備主体等との調整に入れなかった点を減点評価した。鉄道事業をまちづくりに連動させ、是非市の活性化につなげて欲しいと思います。	町田委員	b	調査段階のための委員会を予定どおり開催したということで予定どおりと評価します。具体的な決定には、市民合意や利権関係者との調整など、整備することが経済性や利便性、効率性など多くの要因を総合的に把握して有意義な施策としてもらいたい。
高島委員	c+	目標に遅れが出ているのでこの評価とした。	三浦委員	c	平成23年度の工程では、整備主体との調整・合意が最も重要な達成目標だったのではないかと。内部評価で、「整備主体との調整には入れませんでした。」とあるのは、明かな遅れと判断する。

